「解答」・「解答例」

選抜区分	平成３１年度　（選抜区分：一般選抜 前期日程） 文学部　比較文化学科　　（科目名：総合問題）

問題Ⅰ

問１　近視、近眼

問２　イ

問３　（標準的な解答例）1950 年代に、香港、台湾、韓国のおよそ 20 パーセントから 30 パーセントの 20 歳の人々が近眼であったが、今日ではその割合が 80 パーセントを超えている。それに対して、アメリカにおいては 1970 年代前半において 25 歳から 34 歳までの人々の 24 パーセントが近眼であったのが、2000 年代初頭までにその割合は 44 パーセントにしか増えていない。このように、アメリカは近視の増加率の点でアジアの諸国ほどは劇的ではないため。

問４　（標準的な解答例）2000 年には全人口の四分の一、または、14 億人だった近視の人々が、2050 年までには、地球上の人口の半分、または、ほぼ 50 億人に増えること。

問５　（標準的な解答例）ヨーロッパでは例えば、45 歳から 49 歳までの大学の学位を有している人々におけるその割合は、高卒の人々の割合が 26 パーセントであるのに対して、50 パーセントを超えている。

問６　ウ

問７　（標準的な解答例）アメリカとオーストラリア両国で行われた研究は、屋外で時間を過ごすことが目の問題が生じる可能性を大きく左右することを明らかにした。

問８　（標準的な解答例）しかしながら、興味深いことに、屋外で過ごすことが近視になるのを防ぐ手助けとなる一方、屋外で過ごすことは、ひとたび近視が発生するや、その進行には影響を与えないように思われる。

問９　（標準的な解答例）近視の割合が増えていることは、人々の高齢化とも相まって、来る 10 年間にわたって地球のいたるところで、メガネの売り上げを 1 年あたり数百億ドル増大させる結果となると予想されているから。

問題Ⅱ

（１）（標準的な解答例）It is natural to think that London is the most suitable place for learning a foreign language.　There is no need to explain the reason.

（２）（標準的な解答例）Nevertheless, I don't mean to say that I came to England only for the purpose of improving my foreign language ability.

問題Ⅲ

問１　（標準的な解答例）人間の本体と考えられる意識や精神とは言語のことで、言語は関係の中でしか存立し得ないものであり、身体もまた、多くの生命の共生のシステムであるように、関係性において捉えられるべきものであるから。

問２　（標準的な解答例）近代の社会科学は経済面など社会現象のある面だけに絞って問題を考

えてきたが、現実の人間は種々の動機によっても動き、社会は経済や政治など様々な領域が絡み合っているため、社会問題を解くにはこれらを横断的に統合せざるを得ず、自己にとって大事な問題に誠実に取り組もうとすると、様々な領域を越境せざるを得ないから。

問題Ⅳ

問１　①繁殖 ②収拾 ③危惧 ④辞令 ⑤転嫁 ⑥紛糾 ⑦懸賞 ⑧審美眼 ⑨厳 ⑩更迭

問２　（標準的な解答例）ここまで言ってしまうと、いささかうがちすぎであろうか。

問３　（標準的な解答例）物事が目立ってはっきりしているさま。